解放戦線 40・6 ●・位・9
日本大学文理学部[illegible]
[illegible]

今こそ [illegible]を建設せよ!

10月1日の「国体準備委員会」その決定に[illegible]古田理事会の[illegible]を[illegible]、古田らは、30日の国交で全共斗の前には、きりと屈服しかけていたにもかかわらず、[illegible]

[illegible]内閣の発言によって、その態度を変えた。

これは、単に佐藤首相と古田会頭(元)らが日本会を通じて個人的に親しいというだけでなく、日大そのものが、現在の日本帝国主義ブルジョアジーの手で大学であることを示している。

どがゆえ、日大の改変はブルジョアジーの[illegible]の一環の問題になるのだ。

日大は、明確に、ブルジョアジーによる ブルジョアジーのための、大学であった。

すなわち 学生の流入と排除、日本精神や中道精神の注入による[illegible]主義の貫徹、そして[illegible]作用を[illegible]い、[illegible]、資本家の命令に服従する人間を作り出していた。

われわれの日大斗争を[illegible]に 最初は「古田打倒」のみで斗いに参加した。

だが、[illegible]の[illegible]のわれわれの斗いは、日大の支配者古田を打倒[illegible]ブルジョアジーの[illegible]を通して反[illegible]の声を上げていったのである。[illegible]

「その[illegible]に作っている。

われわれの斗いは明確に、その要素において ブルジョア[illegible]と反[illegible]するものと[illegible]ている。われわれの立場を[illegible]にせねばならない。

現在の日本は[illegible]であり[illegible]、ブルジョアジーとプロレタリアートが対立して存在するのである。

しかし、学生はブルジョア[illegible](小市民)である。この階級の特徴は、自由であるがゆえに、かわりに個人主義であり、[illegible]にかけ、動揺しやすく[illegible]ている。

われわれは、[illegible]その[illegible]ルジョア[illegible]とみ、プロレタリア的[illegible]をねばならない。

[illegible]そして プロレタリア的[illegible]とねばならない。

[illegible]われわれは、「古田体制打倒」をブルジョア[illegible]する

なく プロレタリア的[illegible]まで[illegible]、古田の後にいるブルジョア[illegible]を[illegible]する

[illegible]を[illegible]っていかなければならない。

[illegible]確立のため[illegible]せよ! [illegible]を、で[illegible]せよ!

[illegible]を持って行動せよ! [illegible]を[illegible]で[illegible]せよ!

[illegible]に結集せよ!